

## 調査結果の概要・児童生徒

Q 1 学校のある日は、朝、だいたい何時ころに起きますか？

小・中・高・盲聾養

小学生の9割以上、中学生と盲聾養護学校中学部生徒（以下、中学部生徒）の8割程度、高校生の7割強が午前7時前に起床している。小学生、中学生、高校生と進むにつれて、早く起きる割合が減少している。一方で、午前7時以降に起きる割合が、高校生に至っては回答数の1/4を超えている。

Q 2 学校のある日、朝、家族の人に起こされずに自分で起きていますか？

小・中・高・盲聾養

小学生、中学生の傾向は、全体的に似ている。「自分で起きる」「どちらかといえば自分で起きる」という肯定的な回答がだいたい同じ割合で、合わせると半数を超える程度であり、「どちらかといえば起こされることが多い」という回答が3割程度である。高校生では、「自分で起きる」割合が約4割となり、中学部生徒においては、「自分で起きる」割合が5割近くを占めている。

Q 3 学校のある日、朝起きたときに疲れていると感じることがありますか？

小・中・高・盲聾養

小学生、中学生、高校生と校種が変わるにつれて、「よくある」「時々ある」という肯定的な回答の割合が増加している。中学生では8割が、朝起きたとき、疲れたと感じることが「よくある」あるいは「時々ある」と回答し、高校生では、4割を超える生徒が「よくある」を回答している。中学部生徒では、「よくある」あるいは「時々ある」という肯定的な回答は6割程度であり、小学生より若干少ない。

Q 4 朝起きた時、学校に行きたくないと思うことがありますか？

小・中・高・盲聾養

小学生、中学生、高校生と校種が変わるにつれて、「よくある」「時々ある」という肯定的な回答の割合が増加している。小学生、中学生では5割程度であるが、高校生になると7割近くに増加する。中学部生徒では、肯定的な回答と否定的な回答の割合は、だいたい同じで4割程度である。

Q 5 朝食を食べないで学校に行くことがありますか？

小・中・高・盲聾養

小学生、中学生、高校生と校種が変わるにつれて、「よくある」「時々ある」という肯定的な回答の割合が増加している。小学生では、10%程度であった肯定的な回答が、中学生で14%程度、高校生では、約30%と倍増している。中学部生徒は、中学生と高校生の回答の中間的な回答となっている。

Q 6 平日は、夜、だいたい何時ころに寝ますか？

小・中・高・盲聾養

小学生、中学生、高校生と校種が変わるにつれて、夜遅くまで起きている児童生徒が増えていることがわかる。特に、小学生から中学生への変化が大きい。「午後8時～9時就寝」が15%から1%程度に「午後9時～10時就寝」が約55%から半分以下の約25%に、それぞれ減少し、逆に、「午後10時以降就寝」が約25%から約70%に大きく増加している。中学部生徒の傾向は、小学生の傾向に近く、全体の約1/4が午後9時前に就寝している。

小・中・高

Q7 あなたは、平日に、平均してどのくらいの時間、テレビを見ますか？

小学生、中学生、高校生も、さほど大きな違いはみられない。「3時間以上」という回答が、小学生は4割近くを占め、中学生で微減、高校生でも35%を超えている。「2～3時間くらい」という回答が、小学生、高校生が共に3割程度、中学生も33%と近い数字である。

小・中・高・盲聾養

Q8 あなたは、運動をすることが好きですか？（盲聾養はQ7）

全体的に、「好き」「どちらかといえば好き」という肯定的な回答は、8割前後であり、小学生、中学部生徒では、「好き」が半数を超えている。中学生と高校生は、ともに「好き」が40%を超える程度、「どちらかといえば好き」も30%を超える程度であり、他の選択肢においても差はみられない。

小・中・高・盲聾養

Q9 小学校に入学してからこれまで学習した運動のうち、次の中であなたが、得意ではないと思うものをすべて選んで、答えましょう。（盲聾養はQ8）

小学生、中学生、高校生とも、上位三つが、「鉄棒」「マラソンやランニング」「マット運動」で占められている。「水泳」は、小学生では26%程度であったのが、中学生、高校生になると40%を超えている。中学部生徒は、「マット運動」「跳び箱」が多く、他の選択肢が約30～40%の間に集中している。

小・中・高・盲聾養

Q10 あなたは、今まで次のような体験をしたことがありますか？あてはまるものをすべて選んで、答えましょう。（盲聾養はQ9）

数値の違いはあるものの、どの校種にも全体的な傾向に大きな違いはない。あげるとすれば、小学生における「星空をじっくりみたこと」の割合、中学部生徒における「赤ちゃんを抱いたこと」及び「どろんこになって遊んだこと」の割合が、他校種における他の選択肢と比較して少ない傾向にある。また、「日の出を見たこと」がない小学生、中学生及び中学部生徒は半数以上いること、「木登りしたこと」がない中学部生徒も半数以上いることがわかる。

小・中・高・盲聾養

Q11-1 あなたの家に、パソコンがありますか？（盲聾養はQ10-1）

小学生と中学生における大きな違いはみられず、全体の2/3の児童生徒が、家にはパソコンがあると回答している。高校生では、「ある」と回答する割合が減少し、6割を下回っている。中学部生徒では、約5割が「ある」と回答している。

Q11-1で「1.ある」と答えた人だけ、次の質問に答えましょう。

小・中・高・盲聾養

Q11-2 家のパソコンを使って、掲示板に書き込みをしたり、チャット（複数の人がメッセージなどを連続して交換していくこと）に参加したりしたことがありますか？（盲聾養はQ10-2）

「ある」という回答が、小学生では7%程度であるが、中学生、高校生では約20%に急増している。中学部生徒では、約6%と小学生より若干少ない結果となっている。

小・中・高・盲聾養

Q11 - 3 あなたは、自分の携帯電話（通話が可能なもの）を持っていますか？  
（盲聾養はQ10 - 3）

「持っている」という回答が小学生では、6%程度であるが、中学生では約11%と2倍近くに増え、高校生では、約85%と大きく増えている。中学部生徒は、中学生と同じ程度の所有率となっている。

小・中・高・盲聾養

Q11 - 4 今までに携帯電話（他人の携帯電話も含む）を使って、掲示板に書き込みをしたり、チャットに参加したりしたことがありますか？（盲聾養はQ10 - 4）

「ある」という回答は、小学生、中学生、中学部生徒は5%程度であるが、高校生では、その3倍近い割合である。Q11 - 3の所有率と比べると、小学生以外は半分に以下に割合が減少しているが、小学生はほぼ同じ割合となっている。

小・中・高・盲聾養

Q11 - 5 携帯電話で、いわゆる「出会い系サイト」に接続したことがありますか？  
（盲聾養はQ10 - 5）

「ある」という回答は、小学生、中学生では、約0.5%と低い割合である。高校生は、約6%と急増している。中学部生徒では、2%が「ある」と回答しており、中学生より高い割合になっている。

小・中・高・盲聾養

Q12 ひと月に、何冊くらい絵本や物語、小説など、マンガ以外の本を買いますか？  
（盲聾養はQ11）

「7冊以上」「4～6冊」という回答が、どの校種でも少ない。小学生と高校生の傾向が似ており、「1～3冊」が3割弱、「買わない」が5割を超えている。中学生では、「1～3冊」が約44%、「買わない」が約35%と、小学生及高校生の比べて反対の傾向となっている。中学部生徒は、「7冊以上」「4～6冊」の割合が、他の校種より多くなっている。

小・中・高・盲聾養

Q13 ひと月に、何冊くらい絵本や物語、小説など、マンガ以外の本を読みますか？  
（盲聾養はQ12）

全体的な傾向として、小学生、中学生、高校生と進むにつれて、特に、「7冊以上」「4～6冊」という回答が少なくなる傾向にある。中学部生徒は、中学生の割合と近い傾向にあり、「7冊以上」「4～6冊」という回答が、約17%程度となっている。

小・中・高・盲聾養

Q14 ひと月に、何冊くらいマンガ本を買いますか？（盲聾養はQ13）

「7冊以上」という回答が、すべての校種において5%前後みられる。「4～6冊」という回答も小学生、高校生、中学部生徒において1割前後みられ、中学生では16%程度みられる。中学部生徒は、「1～3冊」の割合が、他の校種より大幅に少なく、小学生の半分ほどである。

小・中・高・盲聾養

Q15 ひと月に、何冊くらいマンガ本を読みますか？（盲聾養はQ14）

小学生、中学生、高校生では、8割以上の児童生徒がひと月に1冊以上マンガを読んでいることがわかる。特に小学生、中学生では、「7冊以上」と回答する割合が、全体の1/3を超え、高校生でも3割近くが「7冊以上」と回答し、中学部生徒は、「7冊以上」は2割程度である。

盲聾養

Q15 あなたは読書が好きですか？

「好き」「どちらかといえば好き」という肯定的な回答をした生徒の割合は約56%おり、「どちらかといえばきらい」「きらい」という否定的な回答の約24%を大きく上回っている。しかし、約24%の否定的な回答のうち、「きらい」が約17%を占めている。

小・中・高・盲聾養

Q16 土曜日が休みになったことで、「以前よりも家族で出かけたり、遊んだりすることが多くなったなあ」と思いますか？

小学生における「いつもそう思う」「時々思う」という肯定的な回答をした児童の割合は約53%と全体の半数を少し超え、否定的な回答は約43%である。中学生では、肯定的な回答が約35%と「あまり思わない」と同じ程度であり、高校生では、肯定的な回答が約25%程度と減少している。中学部生徒は、肯定的な回答が約44%であり、否定的な回答が合わせて約29%と他の校種より大幅に少ない割合となっている。

小・中・高

Q17 あなたは、土曜日に、次のような取り組みがあったら参加したいと思いますか？参加したいと思うものをすべて選んで答えましょう。

小学生、中学生、高校生ともに、「地域のお祭りやイベントに参加する」という回答が目立って多くなっているが、その割合は、小学生に比べて中学生、高校生となるにつれて、少なくなっている。さらに、「どれも参加したいと思わない」という回答が、小学生の5.3%に比べ、3倍近い15.7%と大幅に増え、高校生では、24%とさらに増えている。

小・中・高

Q18 あなたの家では、家族みんながそろって朝食を食べるのは、週に何回ぐらいありますか？

小学生、中学生、高校生と校種が変わるにつれて、週に1回以上あるという回答の割合が減少している。小学生では、7割を超えているが、中学生では7割を下回り、高校生では、5割程度となっている。一方、「ない」という回答は、小学生、中学生で3割程度であったが、高校生では、5割近くに増えている。

盲聾養

Q18 あなたは、手つだいをすることが、好きですか？

「好き」「どちらかといえば好き」という肯定的な回答の生徒が、全体の半数を占め、「どちらかといえばきらい」が約11%、「きらい」が約14%と少ない割合となっている。「好き」という回答が、約33%みられる。

小・中・高・盲聾養

Q19 あなたには、毎日決まってやっている手伝いがありますか？（盲聾養はQ17）

小学生では、一つ以上あると回答した割合は、7割近くあり、中学生で5割、高校生と中学部生徒は、4割を超える程度である。「三つ以上」という回答が、小学生から中学生になると大きく減るが、高校生では、中学生と同じ割合である。また、「ない」と回答した割合は、小学生から中学生にかけて、大きく増え、高校生ではさらに増加して半数を超えている。

小・中・高

Q20 次の中で、あなたが手伝うことの多い仕事を一つ選んで答えましょう。  
なお、あてはまるものがない場合は、その内容を「9 その他の内容」に簡単に書きましょう。

手伝いの内容としては、「食事の準備や後かたづけ」「ペットの世話」「風呂やトイレなどの掃除」が、小学生、中学生、高校生ともに上位を占めているが、中学生や高校生では、他に「洗濯物の取込やたたむこと」が多くなっている。一方、「全くない」という回答の割合は、小学生で約4%程度であるのに対して、中学生、高校生では、10%近くに増えている。

小・中・高

Q21 次の中で、あなたが家族と話をする時、一番多い話題を一つ選んで答えましょう。なお、あてはまるものがない場合は、その内容を「10 その他の内容」に簡単に書きましょう。

小学生、高校生では、「学校や先生のこと」「友だちのこと」が目立って多いが、中学生では、「学校や先生のこと」が多く、「友だちのこと」は、それほど多くない。また、「遊びや趣味のこと」「社会の出来事やニュースのこと」が、小学生、中学生、高校生とも、比較的多い傾向にある。「話をしない」という回答は、小学生では5.2%あり、中学生で7%、高校生で7.2%と微増傾向にある。

小・中・高

Q22 あなたの家族は、あなたの気持ちをよく理解してくれていると思いますか？

小学生では、1/3が理解してくれていると感じており、中学生、高校生になると、2割を下回る結果となっている。肯定的な回答が小学生で7割、中学生、高校生で6割と、半数以上の児童生徒が、理解してくれていると感じている。「全く理解していない」という回答が、中学生では、小学生の2倍に増えるが、高校生になると微減している。

小・中・高

Q23 あなたは、今、自分の家庭での生活が楽しいと思いますか？

小学生では、「とても楽しい」は5割を超え、「少し楽しい」を合わせると、8割を超える。一方、中学生、高校生では、「とても楽しい」がともに3割を下回り、「少し楽しい」を合わせても7割を下回っている。

小・中・高・盲聾養

Q24 あなたの家族は、あなたのことをよくほめてくれますか？（盲聾養はQ19）

小学生では、「よくほめてくれる」「時々ほめてくれる」と合わせると、8割近い児童が肯定的な回答をしている。中学生、高校生では、「よくほめてくれる」と感じる生徒が7%程度、「時々ほめてくれる」と合わせても6割前後の回答となっている。否定的な回答は中学生、高校生が目立つ。中学部生徒は、「よくほめてくれる」と感じる生徒が全体の1/4を超え、小学生よりも多く、肯定的な回答を合わせると6割を超えている。

小・中・高・盲聾養

Q25 あなたの家族があなたをしかるとき、あなたの説明や理由を聞いてくれますか？  
(盲聾養はQ20)

小学生から高校生まで、大きな違いはみられない。「よく聞いてくれる」という回答は、小学生で約27%で中学生、高校生で20%前後であり、「時々聞いてくれる」を合わせた肯定的な回答は、6割前後である。一方、否定的な回答も4割前後みられる。中学部生徒は、「よく聞いてくれる」が27%と小学生と同じ程度ある。

小・中・高

Q26 あなたは、今までに、家で厳しいしかられ方(例えば、たたかれたり、外に出されたりするなど)をしたことがありますか？

「よくある」という回答が小学生では、約11%あり、それが中学生では約9%に減り、高校生で約12%に増えている。「よくある」「時々ある」という肯定的な回答の割合は、どの校種とも4割前後である。一方、「あまりない」という回答が小学生では約3割、中学生と高校生では約4割と肯定的な回答と近い割合となっている。

小・中・高・盲聾養

Q27 将来、やってみたいと思っている仕事がありますか？(盲聾養はQ21)

「いくつかある」という回答が、小学生、中学生、高校生で約半数あり、「一つある」と回答した割合を合わせると、将来やってみたいと思う仕事がある児童生徒の割合は、小学生と高校生で8割、中学生では7割ほどである。中学部生徒は、「いくつかある」という回答が約36%、「一つある」という回答と合わせて6割近い生徒が、将来の仕事をイメージしている。

小・中・高

Q28 あなたが、将来の仕事を選ぶとしたら、次のどの内容を最も大切に考えて選びますか？

小学生、中学生、高校生とも、「自分のやりたい仕事かどうか」回答が一番多くなっているが、小学生では4割弱であるのに対し、中学生では5割を超え、高校生では6割を超えている。「仕事のやりがい」と「仕事の大変さ」については、それほど大きな違いはみられないが、「収入の多さ」についての回答では、中学生になると割合が増えるが、高校生になると逆に減っている。

小・中・高

Q29 子供が被害にあった事件や事故について、家族で話をすることがありますか？

「よくある」という回答が小学生では、約3割、「時々ある」を合わせると肯定的な回答が7割を超える程度である。それが中学生、高校生では「よくある」が約2割に減り、「時々ある」という回答を合わせると、肯定的な回答が6~7割である。「あまりない」「全くない」という回答が徐々に増え、高校生では全体の1/3を超えている。

小・中・高

Q30 あなたは、事件や事故の被害を受けないようにするために、先生や家族に注意されたことは、必ず守ろうと思いますか？

「いつも思う」という回答が小学生では56%、「少し思う」を合わせると9割を超えている。中学生、高校生では、「いつも思う」が約23~26%、「少し思う」を合わせると8割近くになる。中学生では、「全く思わない」という回答が他の校種より多く、「あまり思わない」という回答は、高校生が多い傾向にある。

## 調査結果の概要・保護者

小・中・高・盲聾養

Q1 いっしょに家事をする

「よくしている」という回答が、小保護者から盲聾養保護者まで、校種にかかわらず約13～15%みられる。「全くしていない」という回答が、小保護者に比べて、中保護者が2倍近くに増え、高保護者及び盲聾養保護者ではさらに増加している。

小・中・高・盲聾養

Q2 いっしょに買い物に行く

「よくしている」「時々している」という肯定的な回答を合わせると、すべての校種において、8割程度の保護者が、子供と一緒に買い物に行くと考えている。「よくしている」という回答は、小保護者が4割いるが、中保護者、高保護者と減少し、高保護者では、約25%程度である。

小・中・高・盲聾養

Q3 いっしょに遊んだりスポーツをする

小保護者では、肯定的な回答は6割、中保護者では4割程度、高保護者では、2割を超える程度となっている。盲聾養保護者は、全体的な割合の傾向が、小保護者に近い。肯定的な回答の割合が半数を超えている。

小・中・高・盲聾養

Q4 あなたは、読書が好きですか？

全体的に、校種により少し違いはあるが、回答が「好き」「どちらかといえば好き」という肯定的な回答の割合が6～7割程度であり、「どちらかといえばきらい」「きらい」を合わせた否定的な回答は、高保護者では約3割、盲聾養保護者では4割近くみられる。

小・中・高・盲聾養

Q5 あなたは、お子さんが読んだ本の内容について、お子さんといっしょに話をすることがありますか？

全体的な傾向として、「よくある」「時々ある」という肯定的な回答が、小保護者、中保護者、高保護者と進むにつれて、約55%、約46%、約36%とおよそ10%ずつ減少している。「あまりない」という回答は、中保護者が若干多いが、約35～40%と校種による大きな違いはない。盲聾養保護者の傾向は、肯定的な回答が3割、「あまりない」「全くない」も3割以上みられる。

小・中・高・盲聾養

Q6 お子さんの幼児期に、絵本の読み聞かせをしましたか？

「よくした」という回答が、中保護者、高保護者において半数近くあり、小保護者も4割強、盲聾養保護者も4割近くみられ、「よくした」と合わせると、すべての校種で8割を超える保護者が肯定的な回答をしている。「あまりしなかった」という回答は、小保護者、中保護者、高保護者、盲聾養保護者とも1割程度みられる。

小・中・高・盲聾養

Q7 あなたは、学校の行事や参観日等に、どの程度参加・出席していますか？

小保護者は、「ほとんど出席している」という回答が7割近くあり、「半分以上出席している」という回答を合わせると、9割を超えているが、中保護者では8割、高保護者は半数を超える程度で、中保護者の「ほとんど出席している」と同じ割合になる。盲聾養保護者は、9割近くになり、小保護者と同程度の傾向となっている。小学校から、中学校、高等学校と校種が進むと、出席の割合も減少していく傾向にある。

Q 8 子供が人間的に成長するのを助けること

小・中・高・盲聾養

小保護者では、「満足している」という回答は、全体の1/4ほどで、「どちらかという満足している」という回答を合わせると、9割近くなる。中保護者では8割、高保護者では7割、盲聾養保護者は、9割を超える。どの校種においても、おおむね満足している傾向がみられる。

Q 9 子供の豊かな感性ややさしい心を育むこと

小・中・高・盲聾養

小保護者では、肯定的な回答が9割近く、中保護者では8割、高保護者は、7割を超え、盲聾養保護者は、9割近くになる。「満足していない」「どちらかという満足していない」という否定的な回答の割合が、中保護者、高保護者では2割を超えている。どの校種においても、おおむね満足している傾向がみられる。

Q 10 基礎的な学力をつけるための適切な学習指導をすること

小・中・高・盲聾養

小保護者では、肯定的な回答の割合を合わせると8割を超えており、中保護者では7割弱、高保護者では、8割近い。盲聾養保護者では、8割近くになり、「満足している」という回答の割合が、他の校種より多い。小保護者、高保護者、盲聾養保護者で8割近い満足度であるが、中保護者については、やや低い傾向がみられる。

Q 11 子供の興味関心や学習進度にあった教え方をすること

小・中・高・盲聾養

小保護者では、肯定的な回答を合わせると8割弱、中保護者では6割、高保護者では7割、盲聾養保護者では、8割近くになり、肯定的な回答の割合は小保護者を超えている。小保護者、高保護者、盲聾養保護者と比べ、中保護者については、低い傾向がみられる。

Q 12 いじめや友だち同士のトラブルへの対応

小・中・高・盲聾養

小保護者では、肯定的な回答を合わせると8割近く、中保護者では7割、高保護者は、中保護者と似た傾向がみられる。盲聾養保護者では、8割近くになり、肯定的な回答の割合は小保護者を超えている。中保護者及び高保護者に、やや低い傾向がみられる。

Q 13 保護者が気軽に質問したり相談したりできること

小・中・高・盲聾養

小保護者では、肯定的な回答を合わせると8割弱、中保護者では7割を超え、高保護者は、全体の7割である。盲聾養保護者は、9割近くになり、肯定的な回答の割合は小保護者を超えている。中保護者、高保護者に、やや低い傾向がみられる。

Q 14 学校の教育方針や教育活動の様子を保護者に伝えること

小・中・高・盲聾養

小保護者では、肯定的な回答を合わせると8割を超え、中保護者では、全体の3/4が肯定的な回答となっている。高保護者は、7割を超える保護者が肯定的な回答をしている。盲聾養保護者は、9割近くになり、保護者が満足している傾向にある。小保護者及び盲聾養保護者は8割を超え、特に盲聾養保護者における「満足している」割合が高いが、中保護者及び高保護者については、やや低い傾向がみられる。

Q 15 保護者へ情報を提供したり、地域の人々の声を聞いたりすること

小・中・高・盲聾養

小保護者では、肯定的な回答を合わせると8割近い。中保護者では7割に届かず、高保護者は、6割を超える程度、盲聾養保護者は8割に及ばず、小保護者より少ない傾向にある。小保護者及び盲聾養保護者は8割近い回答であるが、中保護者及び高保護者については、やや低い傾向がみられる。



小・中・高・盲聾養

Q16 土曜日が休みになったことで、「以前よりも家族で出かけたり、遊んだりすることが多くなったなあ」と思いますか？

小保護者では、肯定的な回答を合わせても全体の4割程度である。中保護者では、2割を超える程度、高保護者は、全体の2割程度が肯定的な回答である。盲聾養保護者は、肯定的な回答は4割弱、否定的な回答は約6割と肯定的な回答を上回っている。

小・中・高・盲聾養

Q17 土曜日が休日となったことにより、子供の生活に時間的なゆとりができたと思いますか？

小保護者では、肯定的な回答を合わせても半数に届かない。中保護者では、3割を超える程度、高保護者は、約37%が肯定的な回答である。盲聾養保護者は、全体の半数を超える。一方、「あまり思わない」「全く思わない」と合わせると否定的な回答は約4割となる。

小・中・高・盲聾養

Q18 完全学校週5日制は、あなたのお子さんや家庭にとってよかったですと思いますか？

小保護者では、肯定的な回答を合わせても4割に届かない。中保護者では、3割を超える程度、高保護者は、4割弱が肯定的な回答である。盲聾養保護者は、約43%と他の校種より多くなっている。

小・中・高・盲聾養

Q19 完全学校週5日制等による学力への影響について、いろいろな論議がなされていますが、お子さんをご覧になって、どう感じていますか？

小保護者では、「特に変わりなし」という回答が57%をしめ、「下がった」とする約2割の回答を大きく上回っている。中保護者では、「特に変わりなし」が全体の半数近くで、高保護者は、「特に変わりなし」という回答が60%を超え、盲聾養保護者は、「特に変わりなし」が約55%となっている。全体的に、5日制等による学力への影響は特に感じられないという回答傾向にある。

小・中・高・盲聾養

Q20 子供たちの判断の仕方や生活・行動でよくない姿が見られる時、その主な原因は何だと思いますか？次の中から、あなたの考えに一番近いものを一つ選んでお答えください。

小保護者では、「家庭のしつけや教育力の低下」が全体の回答の半数を占め、次いで「テレビや雑誌等の影響」とする回答が約20%、「友だち同士の影響」が約11%となっている。全体的に、「家庭のしつけや教育力の低下」とする回答が突出して多い傾向にある。

小・中・高・盲聾養

Q21 お子さんのしつけや教育について、最も悩んでいることは何ですか？

回答が20%以上の項目をあげてみると、小保護者は「基本的な生活習慣(24.8%)」、中保護者は「勉強や成績のこと(23.8%)」「進路や進学、就職(20.0%)」、高保護者は「進路や進学、就職(44.5%)」、盲聾養保護者も「進路や進学、就職(31.1%)」「基本的な生活習慣(27.8%)」となり、さらに盲聾養保護者では「発育や病気(12.7%)」も高い割合を示すなど、校種の特性が表れた結果となっている。

小・中・高・盲聾養

Q22 子供のしつけは、どこが中心となって行うものと考えますか？

小保護者、中保護者、高保護者、盲聾養保護者とも、割合に多少の差はあるが、全体の傾向として、「家庭が中心」とする回答がほとんどである。小保護者、中保護者、高保護者では9割を超え、盲聾養保護者も9割近い回答がみられる。

小・中・高・盲聾養

Q23 あなたは、お子さんの気持ちをよく理解している方と思いますか？

小保護者では、肯定的な回答を合わせると8割に届かない。中保護者では8割弱、高保護者は、中保護者に近い傾向がみられ、盲聾養保護者は、約73%と他の校種よりやや少なくなっている。全体的に肯定的な回答傾向にあるが、「理解している」という割合は低い。

**小・中・高・盲聾養**

Q24 子育ての場としての家庭を考えた時、あなたは、今の家庭の状況に満足していますか？

小保護者では、肯定的な回答を合わせると6割程度である。中保護者では6割に満たない。高保護者も6割弱であり、盲聾養保護者は、全体のおよそ半数である。全体的にみると、6割程度の保護者が、今の家庭状況に満足しているが、盲聾養保護者では、肯定的な回答と否定的な回答の差が小さい。

**小・中・高・盲聾養**

Q25 あなたは、お子さんをよくほめていますか？

小保護者では、肯定的な回答を合わせると8割を超える。中保護者では8割程度、高保護者では、7割程度である。盲聾養保護者は、9割を超える。全体的にみると、盲聾養保護者をはじめとして、子供をほめる傾向にあるが、小保護者、中保護者、高保護者と進むにつれて、否定的な回答も増えている。

**小・中・高・盲聾養**

Q26 あなたは、お子さんを叱るとき、お子さんの説明や理由をきいていますか？

小保護者では、肯定的な回答を合わせると8割近い割合となっている。中保護者でも8割近い割合となり、高保護者では、7割を超える。盲聾養保護者は、5割を超えるが、他の校種と比較すると、肯定的な回答が少ない。全体的にみると、小・中・高保護者においては、7～8割が子供の説明や理由を聞いているという回答をしている。

**小・中・高・盲聾養**

Q27 最近、新聞やテレビ等でたびたび報道されている児童の虐待について、自分をふり返ったとき、どう思いますか？次の中から、あなたの考えに近いものを一つ選んでお答えください。

小保護者では、否定的な回答を合わせると8割近い割合となっている。中保護者では、8割を超え、高保護者でも8割を超える。盲聾養保護者は、否定的な回答を合わせると7割程度である。全体的にみると、盲聾養保護者における「どちらかといえばあり得る」という回答が目につくが、おおむね否定的な回答傾向がみられる。

**小・中・高・盲聾養**

Q28 あなたのお子さんが、将来の仕事を選ぶとしたら、次のどの内容を最も大切に考えて選んでほしいと思いますか？

すべての校種の保護者が、「自分のやりたい仕事かどうか」を1番にあげている。特に、小・中・高保護者においては、7割前後の保護者が選択している。2番目は「仕事のやりがいがあるか」という項目を、やはりすべての校種の保護者があげている。盲聾養保護者の回答には、「仕事が大変かどうか(2.9%)」が他の校種より多い傾向がみられる。

**小・中・高・盲聾養**

Q29 子供が巻き込まれた事件や事故について、お子さんと話をすることがありますか？

小保護者では、肯定的な回答を合わせると9割を超えている。中保護者では、約9割、高保護者では、8割を超える。盲聾養保護者は、5割ほどで、他の校種と比較すると、肯定的な回答が少ない。全体的にみると、小・中・高保護者においては、8割以上の保護者が、事件や事故などについて子供と話題にしていることがうかがえる。

**小・中・高・盲聾養**

Q30 事件や事故に巻き込まれないように、お子さんと約束したり、注意したりすることがありますか？

小保護者では、肯定的な回答が9割を超えている。中保護者では、約9割、高保護者では、8割を超えている。盲聾養保護者は、「よくある」「時々ある」という回答を合わせて7割ほどで、他の校種より肯定的な回答がやや少ない。全体的にみると、小・中・高保護者においては、8割以上の保護者が、何らかの約束事や注意等をしている。

## 調査結果の概要・担任

小・中・高・盲聾養

Q 1 朝から疲れた感じの表情や態度の子

小担任、中担任では、肯定的な回答が8割を超え、高担任では7割強、盲聾養担任は、半数を超える程度である。全体的にみると、小・中担任における肯定的な回答が目立つが、高担任では、「思う」という回答の割合が多くなっている。

小・中・高・盲聾養

Q 2 親に手をかけられていないため、親の愛情不足を感じる子

小担任では、肯定的な回答が約7割、中担任では7割に届かず、高担任では約半数、盲聾養担任は、約6割弱である。全体的にみると、小・中担任における肯定的な回答が多く、中担任では「思う」という回答が目立っている。

小・中・高・盲聾養

Q 3 自己中心的で周りのことを考えない子

小担任では、肯定的な回答が8割を超え、中担任では9割、高担任では8割、盲聾養担任では、5割を超える。全体的にみると、中担任における肯定的な回答が目立ち、小・高担任でも8割を超えている。

小・中・高・盲聾養

Q 4 家で厳しく叱られたり、暴力を受けたりしていると思われる子

小担任では、肯定的な回答が2割弱、中担任、高担任では1割以下、盲聾養担任は、2割強である。全体的に否定的な回答が大半を占めているが、肯定的な回答は、小担任と盲聾養担任に立っている。

小・中・高・盲聾養

Q 5 児童の生活、学習などのことについて、あなたは、ふだんから保護者と本音で話し合っていますか？

小担任、盲聾養担任では、肯定的な回答は8割を超え、中担任、高担任では6割である。全体的に、小・盲聾養担任を中心に肯定的な回答が大半を占めている。否定的な回答は、中担任と高担任に目立っている。盲聾養担任にみられる「話し合う機会がない」という回答が特徴的である。

小・中・高・盲聾養

Q 6 学校が発信する情報を家庭はきちんと受け止めている

小担任では、肯定的な回答を合わせると8割近く、中担任では7割弱、高担任では、半数に届かない。盲聾養担任は、7割を超える。全体として、肯定的な回答は、小担任と盲聾養担任において多い傾向がある。

小・中・高・盲聾養

Q 7 子供と保護者との対話の時間が少ない

小担任では、肯定的な回答が6割を超え、中担任では、全体の3/4を占め、高担任では8割を超える。盲聾養担任は、6割を超え、肯定的な傾向にある。全体として、肯定的な回答は、中担任と高担任において多い傾向がある。

小・中・高・盲聾養

Q 8 自分の子供しか見ていない親が多い

全体として、肯定的な回答は、小・中・高担任において7割前後、盲聾養担任では6割を超え、肯定的な回答傾向にある。一方、否定的な回答は、どの校種も2割以上みられ、特に盲聾養担任で3割を超える。

小・中・高・盲聾養

Q 9 授業参観で私語が多い

小担任では、肯定的な回答が5割程度で、中担任では3割、高担任では1割弱、盲聾養担任でも、2割弱と少ない。全体として、高担任をはじめとして否定的な回答が多いが、小担任では、肯定と否定がほぼ半数である。

小・中・高・盲聾養

Q 10 児童生徒の判断の仕方や生活・行動でよくない姿が見られるとき、その主な原因は何だと考えますか？次の中から、あなたの考えに最も近いものを一つ選んで答えましょう。

全体として、「家庭のしつけや教育力の低下」をあげる担任がどの校種でも突出して多く、「学校と家庭との連携」「テレビや雑誌等の影響」における小・盲聾養担任の回答、「学校のしつけ」における中担任の回答が目立つ。

小・中・高・盲聾養

Q 11 子供のしつけは、どこが中心となって行うものと考えますか？次の中から、あなたの考えに近いものを一つ選んで答えましょう。なお、あてはまるものがない場合は、その内容を「5 その他の内容」に簡単に書きましょう。

どの校種でも、「家庭中心」という回答が9割前後を占め、高担任及び盲聾養担任において、「地域中心」が少数であるが目につく。

小・中・高

Q 12 この1、2年間で振り返って、あなたの学級が乱れていると感じたことがありますか？

小担任では、肯定的な回答が4割程度、中担任では、4割強、高担任では4割に満たない。全体的に、肯定的な回答は4割程度であるのに対して、否定的な回答は5割を超えている。

小・中・高

Q 13 授業が始まって、教科書等を机の上に出さない

小担任では、肯定的な回答が7割を超え、中担任、高担任では7割を超える。全体的に、肯定的な回答傾向であるが、否定的な回答も約25～30%と比較的に多くなっている。

小・中・高

Q 14 学級の中で、けんかが絶えない

小担任では、肯定的な回答が8割を超え、中担任では6割、高担任では、7割弱である。一方、否定的な回答は合わせて約2割を超え、中担任とほぼ同じである。

小・中・高

Q 15 先生の話をおかない

全体的に、肯定的な回答が9割前後と、肯定的な回答がほとんどである。否定的な回答は、高保護者の約14%をはじめとして、さほど多くない。

小・中・高

Q16 学校や学級の決まりを守らない

全体的に、どの校種でも肯定的な回答が9割を超え、肯定的な回答が大半である。否定的な回答は高保護者の1割弱が目立つ程度である。

小・中・高

Q17 先生を平気で批判する

全体的に、小・中担任の回答では、8割程度が肯定的な回答をしているが、高担任では、肯定的な回答が大幅に減少する。否定的な回答は高保護者が目立って多い。

小・中・高

Q18 学校で、学級の児童生徒といっしょに読書をすることがありますか？

全体的な傾向として、中担任の7割近い肯定的な回答が目立っており、小担任の半数程度を大きく上回っている。一方、高担任の肯定的な回答の少なさとともに、「全くしていない」という回答の多さが目立っている。

小・中・高・盲聾養

Q19 地域の人材を授業や学校行事などに活用する（盲聾養はQ12）

全体的な傾向として、高担任でやや低さがみられるが、8～9割が肯定的な回答となっている。

小・中・高・盲聾養

Q20 地域の施設や他の学校、関係機関等との連携を図る（盲聾養はQ13）

全体的な傾向として、9割を超える回答が肯定的な内容となっている。

小・中・高・盲聾養

Q21 保護者に学校の教育方針や内容を説明し、学校運営に積極的な協力・参加を得る  
（盲聾養はQ14）

全体的な傾向として、どの校種においても9割を超える回答が肯定的な内容である。

小・中・高・盲聾養

Q22 教員が地域社会の活動に、指導者や協力者として参加する（盲聾養はQ15）

全体的な傾向として、肯定的な回答が8割を超える盲聾養担任を始め、肯定的な傾向にあるといえるが、「とても必要」という回答の割合が、これまでのQ19～21の設問に比べて少ない。

小・中・高・盲聾養

Q23 学校経営等に参画する学校評議員のような制度を導入する（盲聾養はQ16）

全体的な傾向として、肯定的な回答は、盲聾養担任の回答が7割を超えているが、高担任では半数を超える程度、中担任では否定的な回答が上回り、小担任では肯定否定にそれほど差がない。「わからない」という回答も小・中担任に目立つ。

小・中・高・盲聾養

Q24 外部による評価を行い、その内容を公表する（盲聾養はQ17）

全体的な傾向は、前問Q23と似た傾向である。肯定的な回答は、盲聾養担任の回答が7割を超えているが、高担任では、半数を超える程度、中担任では肯定的な回答が3割程度で否定的な回答が上回り、小担任では、肯定否定にそれほど差がない。

小・中・高・盲聾養

Q25 完全学校週5日制等による学力への影響について、いろいろな論議がなされていますが、あなたの学級の児童生徒の実態について、どう感じていますか？なお、あてはまるものがない場合は、その内容を「5 その他の内容」に簡単に書きましょう。（盲聾養はQ18）

全体的な傾向は、「上がったと思う」という回答は1～2%程度で、「特に変わりはない」という回答が小・盲聾養担任に多く、中・校担任では「下がったと思う」という回答が多くなっている。校種により対照的な回答となっている。

小・中・高・盲聾養

Q26 忙しすぎて学級の児童生徒とゆとりをもって接する時間がない（盲聾養はQ19）

全体的な傾向は、8～9割が肯定的な回答である。小・中・高担任では、肯定的な回答のうち、「よくある」という回答が「時々ある」を上回っているが、盲聾養担任では、「時々ある」という回答の方が上回っている。

小・中・高・盲聾養

Q27 「問題を持つ子」の指導がうまくいかない（盲聾養はQ20）

全体的な傾向として、7～8割が肯定的な回答である。否定的な回答が高担任の25.2%をはじめ2割前後の割合で見られる。

小・中・高・盲聾養

Q28 子どもの学力差が大きく、授業が思うように進まない（盲聾養はQ21）

全体的な傾向として、肯定的な回答が、小・中担任は8割近いが、高・盲聾養担任は6割程度である。それとともに、高・盲聾養担任は否定的な回答が3割を超え、比較的高い割合となっている。

小・中・高・盲聾養

Q29 仕事が忙しくて、家に持ち帰る仕事も多い（盲聾養はQ22）

全体的な傾向として、肯定的な回答が8～9割を占めるが、否定的な回答は、小担任を除き、中・高・盲聾養担任の約15～20%を占めて比較的多い。

小・中・高・盲聾養

Q30 保護者や職場の仲間との人間関係がうまくいかない（盲聾養はQ23）

全体的な傾向として、肯定的な回答が3割前後と少ない割合となっている一方、否定的な回答は約7割と高い割合となっている。